

岩手県国際リニアコライダー推進協議会 平成25年度事業報告

自 平成25年4月 1日

至 平成26年3月31日

本年度も岩手県、関係自治体、東北I L C推進協議会と連携し、I L Cへの理解促進や啓発活動、受入れのための調査・研究、広報活動に積極的に取り組むとともに国として正式に国家プロジェクトとして位置付けるよう積極的な要望活動を展開した。

特に、北上山地の優位性や岩手県民の熱意をアピールするため、ジュネーブCERNの視察を実施したほか、各種講演会の実施、DVDやポスター等の作成や寄贈など、岩手県民への啓発・普及活動を積極的に展開した。

8月23日には「I L C立地評価会議」において北上サイトが国内候補地として最適との評価を受け、10月には「LCCの北上サイト視察」に伴う歓迎レセプションを開催するなど誘致から計画実現に向けた活動を実施した。

また、岩手県民一丸となった取組みと事業の一層の拡充のため会員の増強にも努めた。

項目別事業実績は以下の通りである。

1. 諸会議の開催

(1) 役員会

①日 時：平成25年6月13日（木）

場 所：ホテルメトロポリタン盛岡NW／出席者 36名

②日 時：平成25年11月18日（月）

場 所：ホテルメトロポリタン盛岡NW／出席者 35名

(2) 幹事会

①日 時：平成25年6月3日（月）

場 所：盛岡商工会議所 役員室／出席者 7名

②日 時：平成25年11月13日（木）

場 所：盛岡商工会議所 役員室／出席者 6名

2. 事業

(1) 講演会の開催

①公開講演会（主催：岩手経済同友会、岩手県国際リニアコライダー推進協議会）

日 時：平成25年4月25日（木）16：00～

会 場：ホテルメトロポリタン盛岡NW／参加者 約110名

テーマ：CERN視察報告会

講 師：廣田 淳（岩手県I L C推進協議会・理事）

テーマ：「国際リニアコライダー誘致実現に向けて」

講 師：増田 寛也 氏（（株）野村総合研究所 顧問）

②学生向け講演会

日 時：平成25年6月27日（木）・28日（金）

会 場：黒沢尻北高等学校、釜石高等学校

講 師：山下 了 氏（東京大学素粒子物理国際研究センター 准教授）

③学生向け講演会

日 時：平成25年6月26日（水）～7月5日（金）

会 場：県内の小・中・高等学校18校

講 師：齋藤 武彦 氏（ドイツ マインツ大学 教授）

④県民集会～いわての将来を拓く～ 国際リニアコライダー講演会

日 時：平成25年6月29日（土）13：30～

会 場：ホテルメトロポリタン盛岡NW／参加者 約300名

テーマ：「国際研究機関の現場から」

講 師：齋藤 武彦 氏（ドイツ マインツ大学 教授）

テーマ：「星くずから地球へ」

講 師：小久保 英一郎 氏（国立天文台理論研究科 教授）



【県民決議】

講演終了後、国際リニアコライダー東北誘致に関する決議を谷村副会長が朗読し、満場一致で採択された。

【ILC東北誘致に向けた懇談会】同日 16：15～17：30

会 場：ホテルメトロポリタン盛岡NW／参加者 約200名

国際リニアコライダー（ILC）の東北誘致に関する決議

東日本大震災津波は、未曾有の被害をもたらし、本県をはじめ東北はいま、全国、そして世界各国から多くの支援を受けながら、復興に向け、一丸となって懸命に取り組んでいる。

しかし、震災から東北が真の復興を果たしていくためには、長期間にわたって人々が心をひとつにし、夢を持って取り組んで行く象徴的なプロジェクトが必要である。

本県の北上山地は、強固な岩盤を有することなどから、世界でただ1か所建設が予定されている超大型加速器「国際リニアコライダー（ILC）」の候補地となっている。

ILCは、質量の起源とされるヒッグス粒子の詳細な性質解明など、宇宙誕生の謎を探求しようとする、世界最高・最先端のビッグプロジェクトである。

ILCが建設される地域には、世界最先端の研究を行う多くの人材が集まり、同時に精密実験を支える先端技術も集積し、最先端の研究成果が世界に発信される「国際科学研究都市」が形成される。

ILCは、東北全域にわたる産業振興、雇用創出、人材育成、地域振興などに大きく寄与するものであり、定住・交流人口の増加による効果とともに、国際観光の振興などと相まって、東北の復興と国際化が一段と促進されることになる。

東北には世界に誇れる豊かな自然、豊かな文化、美味しい食材、そして何よりもホスピタリティあふれる人情がある。

私たちは、全国から、世界から受けた支援を一生忘れない。

子どもたちの夢と希望、あこがれが未来を作る。

よって岩手県民は、東日本大震災津波からの真の復興と再生の原動力になり、若者や子どもたちに夢と希望を与えるILCの東北誘致に向け、一丸となって取り組むとともに、国家プロジェクトとしてILCの東北誘致を推進するよう強く求めるものである。

平成25年6月29日

岩手県国際リニアコライダー推進協議会

⑤公開講演会

日 時：平成26年2月7日（金）15：45～

会 場：ホテル ルイズ／参加者 約130名

テーマ：「国際リニアコライダーが開く岩手と東北の未来！」

講 師：吉岡 正和 氏（岩手大学・東北大学 客員教授、KEK名誉教授）

⑥公開講演会（岩手の未来を拓く公開シンポジウム ～ILC建設実現に向けて～）

日時：平成26年2月15日（土）13：30～

会場：盛岡劇場／参加者：約450名

テーマ：「ILCが秘める“内なるグローバル化”」

講師：内永 ゆか子 氏（NPO法人 J-Win 理事長）

テーマ：「技術設計書完成後のILC」

講師：佐貫 智行 氏（東北大学大学院 准教授 理学博士）



(2) 広報活動

①東北ILC推進協議会のリーフレット作成・配布

5,000枚を作成し、全国商工会議所観光振興大会いわて大会、経済同友会全国大会、日本商工会議所と東北ブロック懇談会、東北市長会、盛岡市主催ILC講演会の際、資料として配布した。



②岩手県国際リニアコライダー推進協議会のリーフレット作成・配布

4,500枚を作成し、盛岡市主催ILC講演会、滝沢村ILC講演会、岩手県ILC推進協議会会員加入運動、市町村会の際、資料として配布した。



③岩手県内小・中学校へのDVDの寄贈

日時：平成25年7月1日（月）

岩手県・市町村教育委員会を代表して千葉仁一教育長に東北ILC推進協議会と共同で作成したDVD 540枚を寄贈し、県内小・中学校に配布を依頼し、ILCへの理解と普及をお願いした。

④歓迎塔の設置及び横断幕、のぼり、卓上のぼり、ポスター、リーフレットの作成・配布

岩手県と連携し、5月27日～盛岡駅前に歓迎塔を設置した。また、横断幕、のぼり（230枚）、卓上のぼり（1,150枚）、ポスター（1,150枚）、リーフレット（5,300枚）を作成し配布した。

⑤世界に向けた情報発信（東北ILC推進協議会と共同）

日本語版DVD及び英語版リーフレット・DVDを制作した。

⑥誘致推進横断幕の作成

「国際リニアコライダーを東北に！！」の横断幕を作成し、さんさ踊りパレードに参加するなどイベントに活用した。

⑦新聞、テレビ、ラジオによるILC特集への広告協賛

ア「県民集会開催告知及びILC誘致活動告知」

平成25年6月28日（金） 岩手日報朝刊全面広告（10・11面）

イ「国際リニアコライダーを東北に」

平成25年8月9日（金）盛岡タイムス・日刊岩手建設工業新聞社全面広告（4面）

ウ「I L C立地評価会議国内候補地一本化発表後のI L C特集号」

平成25年8月24日(土) 岩手日報朝刊全面広告(4面)

エ「I B C岩手放送によるI L C誘致ブームアップキャンペーン」(3月末～6月末)

・TV番組・・・平成25年5月5日(日)(30分)

・ラジオ番組・・・「ワイドステーション」番組内コーナー5分提供

・テレビ30秒CM 20本/テレビ15秒CM 40本/ラジオ20秒CM 30本

オ 平成25年9月21日(土) 岩手朝日テレビによる特番

カ 平成25年10月12日(土) 岩手めんこいテレビによる特番

キ 平成25年10月14日(月) テレビ岩手による特番

⑧経済紙への寄稿等

・岩手経済研究2月号 シリーズI L Cへの期待と課題(第1回)

「国際リニアコライダー実現に向けて」谷村会長

・いわて経済同友2月号 新春インタビュー

「国際リニアコライダーの実現に全力～岩手の将来を見据えて準備を～」谷村会長

(3) 調査・研究事業

①東北における国際リニアコライダー計画に伴う官民連携可能性調査

調査体制：東北I L C推進協議会に「国際学術都市研究分科会」を設置(座長 玉山 哲理事)

委託者：岩手県、岩手県国際リニアコライダー推進協議会、奥州市、一関市

②ジュネーブ：CERN視察による受入体制整備に向けた調査・研究

日時：平成25年4月10日(水)～4月15日(月)

参加者：上野副知事、盛岡市長、奥州市長、一関市長、元持会長、総勢35名参加

概要 ・CERN要人へのプレゼンテーションとディスカッション

・日本人研究者とのディスカッション及び夕食懇談会

・ATLAS、グローブ、幼稚園、消防署、メディカルセンター視察

・フェルネーポールテル市長とのディスカッションと朝市見学等



③国際ナショナルスクール視察による受入体制の整備に向けた調査・研究

日 時：平成25年4月18日（木）

場 所：幕張国際ナショナルスクール小学校・幼稚園

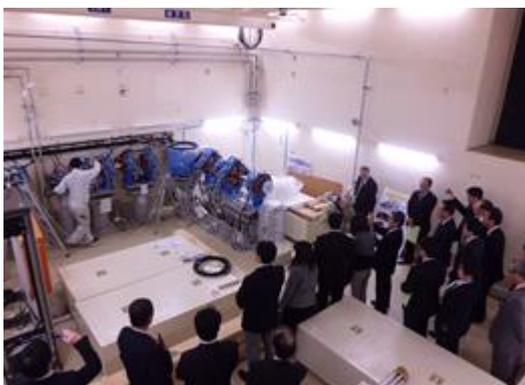
④研究者による立地評価会議への対応

平成24年度に「国際科学技術都市調査研究分科会」（座長 玉山 哲理事）において、国際科学技術研究圏域等の環境整備及び実現方策の検討と策定を行っており、この分科会での検討を「ILC立地社会環境基盤評価情報」として、平成25年5月10日（金）に研究者等の関係者に提出した。

⑤高エネルギー加速器研究機構（KEK）・関連企業等の視察

日 時：平成26年2月18日（火）～2月19日（水）

内 容：当協議会及び岩手県（庁内ワーキンググループ産業振興分科会）の共催として、加速器関連産業への参入に関心を持つ企業を対象に、KEK、関連企業等の視察を実施した。



⑥国際学術研究都市：千葉県：柏の葉スマートシティ視察

日 時：平成26年3月7日（金）／場 所：千葉県柏市

内 容：国際学術研究都市の形成についての理解を深めるため、国際学術研究都市・次世代環境都市「柏の葉国際キャンパスタウン」において公民学連携によるまちづくりに取り組んでいる千葉県柏市を視察した。

⑦産学連携、研究者等との情報交換によるILC実現推進に向けた活動

- | | |
|-----------------------------|--------------------|
| ア 日本創生会議座長 増田 寛也 氏との懇談会 | 日 時：平成25年7月24日（水） |
| イ 岩手大学、岩手県立大学、岩手医科大学学長との懇談会 | 日 時：平成25年12月24日（火） |
| ウ 山下 了 准教授との懇談会 | 日 時：平成26年1月31日（金） |
| エ 衆議院議員 鈴木 俊一氏との懇談会 | 日 時：平成26年2月9日（日） |
| オ 岩手医科大学学長との懇談会 | 日 時：平成26年3月25日（火） |

(4) 要望活動等

① 青森県知事、秋田県知事、北海道知事等への表敬訪問

日 時：平成25年6月17日（月）・平成25年6月18日（火）・平成25年7月10日（水）

②参議院議員選挙等による政府要人来県に伴う要望

ア 自民党中小企業小規模事業者政策調査会長・伊藤 達也衆議院議員への要望

日 時：平成25年7月8日（月）

イ 下村 博文 文部科学大臣来県に伴う懇談会

日 時：平成25年7月10日（水）

ウ 甘利 明 経済再生担当大臣来県に伴う要望

日 時：平成25年7月16日（火）

エ 茂木 敏充 経済産業大臣来県に伴う懇談会

日 時：平成25年7月19日（金）

オ 河村建夫 リニアコライダー国際研究所建設議員連盟会長来県に伴う懇談会

日 時：平成25年10月4日（金）



③東北六県商工会議所連合会、岩手県商工会議所連合会要望時における I L C 要望

ア 東北六県商工会議所連合会要望、地元選出国會議員への要望

日 時：平成25年7月18日（水）

要望先：復興庁、経済産業省、国土交通省等関係省庁、地元選出国會議員

イ 中小企業庁、復興庁、自民党、公明党幹部への要望

日 時：平成25年7月24日（水）

要望先：北川中小企業庁長官、大島自民党復興加速本部長、井上公明党幹事長、長嶋復興庁政務官

ウ 復興大臣、地元選出国會議員への要望

日 時：平成25年9月18日（水）

要望先：谷復興副大臣、地元選出国會議員

エ 復興副大臣、中小企業庁長官、地元選出国會議員への要望

日 時：平成25年12月4日（水）

要望先：谷復興副大臣、北川中小企業庁長官、地元選出国會議員

オ 中小企業庁長官、復興庁への要望

日 時：平成26年1月30日（木）

要望先：北川中小企業庁長官、復興庁

カ 日本商工会議所 三村会頭との面談

日 時：平成26年1月31日（金）

場 所：日本商工会議所

参加者：谷村会長、玉山副会長、廣田理事、事務局



(5) LCC（リニアコライダーコラボレーション）等による講演会・視察等への対応

① ILC計画・国際シンポジウム（主催：LCC／東京大学素粒子物理国際センター／AAA）への参加

日 時：平成25年10月15日（火）／場 所：東京大学伊藤国際学術研究センター

内 容：基調講演 「最先端科学×夢＝ILC」

講 師：村山 斉 氏（東京大学カブリ数物宇宙研究機構 機構長）

大宮 英明 氏（三菱重工業（株） 取締役会長）

内 容：パネルディスカッション（コーディネーター 池上 彰 氏）

・パネリスト 村山 斉 氏、内永 ゆか子 氏、山崎 直子 氏、リン・エバンス氏、マイク・ハリソン氏

② LCCメンバー北上サイト視察に伴うレセプションの開催

日 時：平成25年10月17日（木）／場 所：プラザイン水沢／参加者：71名

LCCメンバー：リン・エバンス 氏、村山 斉 氏、マイク・ハリソン 氏

ステイナー・ステイブネス 氏、山本 均 氏、ブライン・フォスター 氏

KEK・東京大学・岩手県知事・岩手県政策地域部・東北ILC推進協議会

東北大学・岩手大学・岩手県立大学・県内外市町村関係者（一関市長、奥州市長、気仙沼市長、仙台市、盛岡市、大船渡市、釜石市、北上市、花巻市、平泉町）



③ LCCコミュニケーターによる北上サイト建設候補地視察レセプションの開催

日 時：平成26年2月3日（月）／場 所：一関市、奥州市

LCCコミュニケーター：バーバラ・ワームベン 氏（ドイツ電子シンクロトロン研究所）

ベリン・ロワイヤードウジュ 氏（仏国立核物理素粒子物理研究所）

高橋 理佳 氏（高エネルギー加速器研究機構）



3. 東北I L C推進協議会との連携

①東北I L C推進協議会 総会（決議）・講演会・シンポジウム

日 時：平成25年4月26日（金）／場 所：仙台市江陽グランドホテル

②東北I L C推進協議会 東京集会

日 時：平成25年5月30日（木）／場 所：経団連会館

内 容：「日本再生」～I L Cを核とした科学技術創造立国と東北のポテンシャル～

- ・基調講演「国際リニアコライダー計画について」

東京大学素粒子物理国際研究センター准教授 山下 了 氏

- ・特別講演「I L Cの実現による日本再生と世界に開かれた地方都市の創造」

日本創生会議座長 増田 寛也 氏

- ・パネルディスカッション「I L Cを核とした科学技術創造立国と東北のポテンシャル」

③東北I L C推進協議会 東北・北海道選出国会議員との朝食会

日 時：平成25年5月31日（金）／場 所：ホテルルポール麹町

④東北I L C推進協議会 要望

日 時：平成25年5月31日（金）

要望先：下村文部科学大臣（丹羽政務官対応）

河村超党派議員連盟会長

山本一太内閣府（科学技術政策）大臣

根本復興大臣（長嶋政務官対応）



⑤東北I L C推進協議会 講演会

～I L C講演会 in 仙台 “宇宙の謎に迫る 国際リニアコライダー計画と東北の未来”～

日 時：平成25年10月19日（土）／場 所：（株）ユアテック 3階大ホール

テーマ：「宇宙の始まりに素粒子で迫る」

講 師：村山 斉 氏（東京大学カブリ数物宇宙研究機構 機構長）

テーマ：「国際リニアコライダー計画と東北の未来」

講 師：吉岡 正和 氏（東北大学・岩手大学 客員教授）

テーマ：「国際リニアコライダーの国内候補地一本化に向けて」

講 師：山下 了 氏（東京大学素粒子物理国際研究センター 准教授）

4. 共催・後援等

- ① IATサイエンス教室「最先端研究はこんなに面白い～中高生のための科学入門～」(後援)

日 時：平成26年3月23日(日) 13:30～/会 場：プラザおでって

テーマ：「光」が広げる最先端医療の世界

講 師：片桐 崇史 氏(東北大学工学部 准教授)

テーマ：ゲノムの国の物語～解き明かされる遺伝情報の流れ

講 師：大林 武 氏(東北大学工学部 准教授)

- ②「ILCと宇宙と宮沢賢治」(後援)

日 時：平成26年3月23日(日) 14:00～/会 場：岩手教育会館 大ホール

内 容：基調講演「賢治作品の中の宇宙」

講 師：渡部 潤一 氏 国立天文台 副台長

内 容：ILC普及啓発映像「宇宙誕生のひみつを追え！国際リニアコライダー計画」

内 容：座談会 渡部潤一さん×藤本順平さん×近衛はなさん

講 師：渡部 潤一 氏(国立天文台 副台長)

藤本 順平 氏(高エネルギー加速器研究機構)

近衛 はな 氏(女優、脚本家、詩人)



5. その他

- ① ILC立地評価会議による国内候補地一本化発表記者会見

日 時：平成25年8月23日(金) /場 所：盛岡商工会議所

- ② ILCの実現に向けた国際学術研究都市の形成を考える講演会(主催：岩手県)

日 時：平成26年1月17(金) /場 所：エスポワールいわて

テーマ：「公民学連携によるまちづくり」

講 師：奥山 勤也 氏(千葉県柏市企画部 参事)

染谷 康則 氏(千葉県柏市企画部企画調整課 副参事)

三牧 浩也 氏(柏の葉アーバンデザインセンター 副センター長)

- ③東北経済連合会岩手地域懇談会(「東経連フォーラム in 岩手」)

日 時：平成26年2月13日(木) /場 所：メトロポリタン盛岡

テーマ：「東日本から生まれる日本の新たな成長」

講 師：増田 寛也 氏((株)野村総合研究所 顧問)

6. 組織状況(平成26年3月31日現在)

法人・団体会員 421/個人会員 78/合計 499会員